

道内でも地域医療が深刻になり、必要な医療が受けられなくなっています。地域の医療を担う公立・公的病院は、医師や看護師不足、低診療報酬などで経営が深刻です。

自公政権は、2025年までに公的医療費を抑制するため、ベッドを縮小する地域医療構想を進めてきました。さらに、2040年に向けて、外来医療を含む医療提供体制の縮小を狙っています。

地域で必要な医療が受けられるために、これらの動きの問題点と運動の方向性について学習しましょう。



## 深刻な地域医療を守るために

—ベッドを縮小する地域医療構想の今後と解決のための方向性—

講師 **寺尾 正之さん** 日本医療総合研究所 研究研修委員  
元全国保険医団体連合会 事務局次長



2024年

**8月20日(火) 17:30~19:00**

会場 **北海道民医連 3階大会議室+オンライン**  
札幌市北区北14条西3丁目1-12

参加を希望される方は、下記のURLか二次元バーコードにアクセスして申し込みください。  
当日までに、ZoomのID・パスワードと資料を送付させていただきます。

<https://x.gd/edXag>



主催 **地域医療と公立病院を守る北海道連絡会**  
問い合わせ 電話011-758-2648(北海道社会保障推進協議会)